

オホーツク網走マラソン2022 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

感染症対策ガイドライン

本ガイドラインは、「オホーツク網走マラソン 2022」の開催にあたり、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐとともに、感染症が発覚した場合に迅速な対応を行うことを目的として定めるものです。内容については新型コロナウイルス感染症の感染状況により内容が変更される場合があります。下記の項目をよくお読みいただき、内容を承諾したうえで大会にエントリーするよう、また安心・安全な大会運営にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

【感染症対策のための誓約事項】

お申込みをいただいた場合には、下記の事項を了承し、遵守することを誓約いただいたうえでエントリーを行うものとします。

- (1) 本大会の感染症対策ガイドライン等で定める感染症対策や大会内容変更規定の内容を了承し、遵守します。
- (2) 感染症予防対策目的として、個人情報の取得、使用、保健所・医療機関等の第三者への提供について同意します。
- (3) 参加者は大会当日、新型コロナウイルスワクチン接種証明書（2回以上）または新型コロナウイルス陰性証明書の提示していただきます。
- (4) 以下の場合は、参加を辞退します。
 - ① 大会開催前3週間以内にスクリーニング検査で陽性反応があった場合（ただし、擬陽性を除く。）
 - ② 保健所から濃厚接触者と認定され、10日間にわたる健康状態を観察する期間を経過していない場合。また、観察期間内に感染が疑われる症状があった場合。保健所の認定がなくても周囲の状況から濃厚接触が疑われる場合には同様に扱う。
 - ③ 大会当日に発熱（37.5℃以上）した場合や、大会前1週間以内に体調管理チェックシートまたはRUNNET体調管理チェックシステム（以下、チェックシートという）の項目に当てはまる症状がある場合
 - ④ 大会開催前3週間以内に感染疑い症状が発症していた場合
 - ⑤ 過去10日以内に新型コロナウイルス感染症陽性と診断された方との接触がある場合
 - ⑥ 過去10日以内に同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ⑦ 過去10日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (5) イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症への感染が発覚した場合はすみやかに主催者に報告し、自治体や保健所等の調査に協力します。
- (6) 大会後に感染症を発症した場合には、その感染経路の特定に協力します。
- (7) その他、大会運営に支障きたすような行為、非協力的な行為、虚偽の申告等を行った場合、所要の措置を取ります。

【具体的な感染症対策】

大会前

- ・参加者は、2回以上の新型コロナウイルスワクチン接種証明書（「新型コロナウイルス感染症予防接種証明書」「新型コロナウイルスワクチン予防接種済証（臨時）」「新型コロナワクチン接種記録書」のいずれか）または、陰性証明書（「PCR検査：9/22（木）9:00以降」「抗原定量検査：9/22（木）9:00以降」「抗原定性検査：9/22（木）9:00以降」のいずれか）をスタート会場入場時に提示してください。
- ・本大会に参加される方は、体調管理チェックシートの提出または、RUNNET体調管理チェックシステムでの管理が必要です。ホームページからどちらかのチェックシートをダウンロードし、大会1週間前から体調と体温を記録してください。大会当日にチェックシートの提出がない場合や虚偽の記載があった場合は、大会に出場できません。
- ・チェックシートにより感染リスクが高いと判断された場合は、医療スタッフの診断により参加をお断りする場合があります。医療スタッフの診断を拒否された場合も同様です。これらの場合の参加料返金はありません。

大会当日

(1) 入場時

- ・主催者の指示に従い、各シャトルバス乗場、網走刑務所（スタート地点）、大曲湖畔園地（フィニッシュ地点）において、チェックシートの提出（専用アプリによる提出の場合は画面の提示）後、検温を実施し、参加者や競技運営関係者等に感染疑い者がいないか確認を行います。体調チェック済みの参加者には「リストバンド」を交付します。※事前に記入を済ませてから持参してください。
- ・指定された入場口から会場内にお入りください。
- ・発熱が確認された場合や、チェックシートが提出されない、または適切に健康管理がされていないと実行委員会が判断した場合は、新型コロナウイルス感染の有無にかかわらず、会場への入場や大会への参加をお断りする場合があります。この場合の参加料返金はありません。

(2) スタート会場内の行動について

- ・会場内ではマスクの着用等、感染防止対策にご協力ください。大会が求める感染防止対策に従っていない場合は、参加をお断りする場合があります。この場合の参加料返金はありません。
- ・参加者はスタート前はなるべく不織布のマスクを使用してください。
- ・感染防止の観点から、スタート会場内に更衣室はありません。事前に着替えを済ませてから、会場へお越しください。
- ・スタート会場内にゴミ箱は設置しません。ゴミやマスク、飲みきれなかったドリンク等は各自持ち帰り、処分してください。
- ・他の参加者とは十分に距離を取り、大声での会話は避けてください。

(3) 競技中

- ・スタート前（スタートブロックへの移動・待機時）やフィニッシュ後は、特に密集する可能性が高いため、マスク等で口や鼻を覆うように着用してください。競技中のマスクの着用は各自の判断により、お願いいたします。
- ・他の参加者とは可能な限り1m程度の間隔（フィジカルディスタンス）を空けるようにしてください。

- ・会場内や走路上で唾や痰を吐かないでください。
- ・給水所では、マイカップへの給水および、紙コップでの給水方法を併用します。
- ・スポンジの提供は行いません。

(4) 競技終了後

- ・参加者の密集を防ぐため、会場で記録（速報）の掲出はいたしません。
- ・会場での完走証の発行はありません。WEB からダウンロードしてください。
- ・マスクはウイルスが付着する可能性があるため、各自が持ち帰り廃棄をお願いいたします。
- ・大会終了後の会食時も、各自が十分な感染防止対策をお願いいたします。また、感染状況によっては、実行委員会から会食自体の自粛を求める場合があります。

大会終了後

- ・大会終了後 2 週間の体調管理・検温結果を記録してください。
- ・大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症に感染した場合は、主催者へその旨報告してください。

その他

(1) 観戦・応援について

- ・スタート会場内は、制限区域とし、ご家族やご友人など参加者本人以外の入場はできません。
- ・制限区域外の応援は観衆同士の密集の回避、大声での応援はお控えください。

(2) 大会スタッフについて

- ・本大会運営スタッフおよび関係各機関においても【感染症対策のための誓約事項】を遵守します。
- ・開催の一週間前より、健康状態を記入したチェックシートにて健康管理を徹底します。
- ・競技役員やボランティア、大会運営関係者において、派遣元の組織において健康管理責任者を決め、健康管理チェックシートを集約し実行委員会に報告することとします。
- ・大会当日、関係者・スタッフは全員、検温を行います。
- ・全員マスクを着用し、参加者と接触する可能性のある運営スタッフは、必要に応じてフェイスガード、ビニール手袋等を着用します。
- ・会場に万が一マスクが落ちていた場合は、使い捨ての手袋着用の上、清掃トングを使うなど直接手に触れないことを徹底いたします。
- ・関係者、競技役員、大会役員、ボランティア等が65歳以上の方、基礎疾患を有する方の場合、万が一新型コロナウイルスに感染した場合は、重症化するリスクが高い旨を認識した上で参加いただくこととなります。

(3) 体調不良（感染の疑い）がある参加者・スタッフがいた場合

- ・体調不良を感じた場合は、速やかに会場内及びコース上の救護スタッフにお申し出ください。
- ・本大会の開催にあたり、新型コロナウイルス感染者が出た場合は、関係機関への情報提供を行うとともに、参加者や大会関係者に、必要に応じて連絡いたします。

(4) 推奨アプリについて

- ・本大会は、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の利用を推奨しています。ご自身のスマートフォンにインストールしてご利用ください。

(5) 保険について

- ・本大会で加入している保険は、感染症は対象外となります。ご了承ください。

オホーツク網走マラソン 2022 大会中止規定

新型コロナウイルス感染症に関わる大会中止規定

以下の場合、大会を中止します。

1. 大会当日、北海道で新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条に基づく緊急事態宣言が発出中、若しくは、北海道および網走市がまん延防止等重点措置区域に設定された場合、以上の要請内容にイベントの開催の中止もしくは自粛が含まれている場合

注 緊急事態宣言等発出中であっても、緊急事態宣言の要請内容にイベント開催の中止もしくは自粛が含まれていない場合は、開催地の自治体等と感染防止に関する諸事項について十分に協議した上で、政府や開催地の自治体等から示された条件等を踏まえ、感染リスクをできる限り軽減させる策を講じた上、大会を開催することを検討します。

＜日本陸上競技連盟「ロードレース再開についてのガイダンス」抜粋＞

※ただし、緊急事態宣言発出中であっても、緊急事態宣言の要請内容にイベント開催の中止もしくは自粛が含まれていない場合は、競技会主催者は競技会の開催を検討してもよい。開催にあたっては、開催地の自治体等と感染防止に関する諸事項について十分に協議した上で、政府や開催地の自治体等から示された条件等を踏まえ、感染リスクをできる限り軽減させる策を講じること。

2. 大会当日、開催地自治体（北海道・網走市）からイベント中止が要請されている場合
 3. 国内感染状況や感染拡大リスク等を踏まえ、安全な開催が困難であると実行委員会が判断した場合
- ※新型コロナウイルス感染症の感染状況により大会が中止となった場合、返金方法・金額については都度主催者が判断し決定します。

※以上の規定は令和4年3月時点で作成したものです。今後の状況次第で内容改正することがあります。